

# 営農だより 第9号

おいしいをつくりましょ。  
富士伊豆農業協同組合

発行 令和4年7月5日  
北駿産米改良推進協議会  
JAふじ伊豆御殿場営農経済センター  
TEL:0550-84-4820

定点調査 生育状況  
株間平均 19.3cm

7月1日(金)現在

場所	標高(m)	植付本数	茎数(本)	茎数/m <sup>2</sup>	草丈(cm)	葉齢	葉色	田植え日
神山(町屋)	295	3.5	22.5	408	58.4	10.4	4.0	5/3
吉久保	370	4.1	28.0	426	60.7	11.1	4.8	5/1
大堰	400	3.6	28.9	446	61.1	10.4	5.4	5/3
用沢	460	3.3	26.0	459	64.5	11.0	5.4	5/8
仁杉(加州-周辺)	500	4.4	24.4	440	53.1	10.4	4.8	5/6
中畑	550	3.2	17.7	311	57.9	10.5	4.5	5/2
上柴怒田	610	2.6	18.7	369	60.6	11.1	5.5	5/6
平均		3.5	23.7	408.4	59.5	10.7	4.9	
R3 同時期			28.2	490.4	48.5	10.3	4.7	

※葉齢 10 葉期で出穂 32 日前、11 葉期で 24 日前、12 葉期で 16 日前となります。(13 枚、コシヒカリの場合)

## 稲こうじ防除 ~玄米へ混入すると検査で出荷不可です!!~

気象条件により発生量が大きく左右され、一般に低温・日照不足・多雨条件で多発します。ほ場で越冬した胞子が翌年の発生源となるため、前年の発生が多いと今年の発生が多くなります。予防防除が重要で出穂前に農薬を散布します。昨年発生したほ場では必ず防除しましょう。

薬 剤	使用時期	使用量(10a)
Zボルドー粉剤DL	出穂前14日~10日	3~4kg
モンガリット1 <sup>キ</sup> 粒剤	出穂前14日~21日	1kg

穂が見え始めたら、絶対に散布しない ⇒ 薬害あり(Zボルドー)

病斑や菌核が玄米中に混入すると、玄米が変色(着色)し、JAでの買い入れが出来ず、持ち帰りとなってしまいます。

(規格外にもなりません!! 御殿場・小山地区内で増えています)

※稲こうじによる着色米は色彩選別機では抜けません。

## 今年の生育傾向

今年の中干しを行っても葉色がさめず、例年の今頃と比較するとほ場の色が濃い傾向です。この要因として6月前半の低温や日照不足により肥料の発現が緩慢でしたが、6月下旬の気温上昇、十分な日照の確保により肥料成分の発現が活発となり葉色が濃くなったことが考えられます。

東海は6月27日に梅雨明けとなり、これは観測史上最短の梅雨期間です。今後は気温が高くなることが予想されており、生育が旺盛になることが期待されます。過剰分げつ・草丈の伸びすぎに注意し、太く、揃いの良い有効茎を目指しましょう。

### 目標

- ①「米ぬか入り肥料」の施用により、循環型農業の実践
- ②粒張が良く、食味値80点以上の良食味米

## ~中干し以降の水管理で粒張りの良いお米を作ろう 水も酸素も欲しがる上根が増える時期です!!~

本年6月の天候について、前半は気温、日照時間、降水量ともに例年を下回り、6月末になると気温・日照時間が例年を大きく上回りました。向こう1か月は平年に比べ気温が高く降水量は少ない予想です。作業を行う際はくれぐれも熱中症に気をつけてください。

現在の水稻生育状況は、昨年とほぼ同様の生育ステージで推移しています(7月1日現在)。しかしながら草丈の長いほ場が散見されます。今後の気温によってさらに丈が長くなるのが考えられますので、ほ場内の水温を出来るだけ上げないようこまめに水の入れ替えを行いましょう。またそろそろ幼穂が見え始めます。幼穂が確認できたら出穂時期を計算し、間断灌水を徹底して根を活性化させましょう!!

JA推奨の「穂肥のいらぬ施肥体系」を行っているほ場では、今の時期に十分な茎数、葉色、茎の太さが確保できていれば基本的には穂肥の施用は必要ありません。しかし茎数が多かったり葉色がさめ過ぎてしまったほ場では、粒を太らせるための穂肥を施用することも必要です。詳しい診断は各地区で予定している生育巡回(旧 穂肥巡回)にて行いますのでぜひご参加ください!!

例年カメムシによる被害も増加しています。草刈りと薬剤による適期防除を行いましょう。

### 【御殿場の気象】アメダスデータ御殿場

項目	平均気温(°C)			日照時間(hr)			降水量(mm)		
	本年	平年	差	本年	平年	%	本年	平年	%
4月 計	12.8	11.5	1.3	153.9	161.3	95.4	383.5	252.6	151.8
5月 計	15.9	15.9	0	168.1	158.6	106.0	270.0	243.7	110.8
6月前半 計	17.0	18.4	▲1.4	52.7	60.8	86.7	82.0	120.6	68.0
6月16~20日	19.8	19.4	0.4	13.6	15.4	88.3	4.5	61.0	7.4
21~25日	21.5	20.0	1.5	3.7	13.4	27.6	52.5	64.0	82.0
26~30日	24.6	20.8	3.8	49.4	13.4	368.7	0	66.9	—
6月後半 計	22.0	20.1	1.9	66.7	42.2	158.1	57.0	191.9	29.7
6月 計	19.5	19.3	0.2	119.4	103.0	115.9	139.0	312.5	44.5

## 水管理

### 水管理によって健全な根を多く作りましょう

中干しが完了したら間断灌水を行い、急激な葉色の低下を抑える為に根に酸素と水を供給しましょう。

※ただし、長期間の溜め水は根を傷める為逆効果となります。

間断灌水  
と

飽水管理

水尻を止めた状態で3cm程度入水し、自然減少を繰り返す（間断灌水）。足跡に水がたまる程度の湿潤状態を保つ（飽水状態）。根が常に水分吸収可能な状態を維持することで急激な葉色低下を防ぎ、また肥料持ちを良好にします。

## 穂肥の施用（コシヒカリ）

- 1) JA 推奨：穂肥のいらぬ施肥体系～基肥+米の精肥料7号（60kg）施用ほ場  
→基本的には穂肥は必要ありません。しかし地力が低いほ場や茎数を取り過ぎたほ場は葉色がさめ過ぎてしまいます。その場合は窒素1kg程度、下記表に従って施用して下さい。

茎数	茎の太さ	葉色	穂肥
500本/㎡以上(27本/1株)	細い	4.3(SPAD 35)以下	適期に散布
400本/㎡以下(22本/1株)	細い	4.3(SPAD 35)以下	早期追肥

※→株間18cm、畝間30cmの場合

◎窒素1kg=マップ456 約7kg/10a

- 2) 従来の施肥体系～基肥+穂肥体系ほ場

→下記の穂肥診断方法を参考にして、適期適量散布しましょう。

肥料名	散布適期	散布量(10a当り)
マップ456(化成)	出穂18日前(幼穂長1cm)	20kg(N=2.8kg)
有機アグレット727(有機)	出穂23日前(幼穂長3mm)	34kg(N=2.4kg)

❖倒伏が懸念される場合(葉色が濃い、茎が細い、草丈が長い等)はウォーターシリカを散布しましょう。

中干し後(7月上旬)間断灌水で水を入れている状態で散布 15kg/10a

穂肥診断方法 ※ほ場によって、生育状況が異なるので生育調査を必ず実施しましょう！

葉色～葉色板で計測

茎数(本/㎡)～10株の茎数を測定した1株当たりの平均値(本数/株)を㎡当りの本数に換算

茎数/㎡の算出 ㎡当たりの茎数(穂数)が適正であるかが重要です

①株間を測る(10株間を測る) ②茎数を数える

例) 株間10株の平均の長さ180cm÷10=0.18m 畝間30cm=0.3m

茎数※23本/株

※5株～10株平均的な所を測定

$$1 \div 0.18 \div 0.3 \times 23.0 = 425.9 \text{本/㎡}$$

【自分の稲姿を表に当てはめ、量と時期を調整しましょう】

茎数不足の場合 → 量を増やし、施用の時期を早める。

茎数が多い場合 → 量を減らし、施用の時期をやや遅らせる。

草丈(調査株の平均値) → 70cm以上であれば量を減らす。

幼穂長～幼穂の長さにより、出穂前日数を確認する。

幼穂長と出穂前日数



幼穂長 1.5mm

出穂 27 日前

幼穂長	出穂前日数
2mm	25日
3mm	23日
5mm	20日
10mm	18日

## カメムシ 防除を行いましょ

カメムシが多発するほ場は、穂がほ場全体で80%～90%出た時期(穂揃期)とそれから2週間後の2回薬剤を散布すると効果が高いので必ず行うようにしてください。

※トレボン粉剤は、ほ場全体・畦畔・農道等カメムシの生息している場所にくまなく散布。

※スタークル1kgH粒剤は深水を避け、浅水(田面が露出しない程度)で散布。

田全体に均一に散布し、畦畔周りだけでなく田の中央部までしっかり散布。

薬剤	使用時期	使用量(10a)
トレボン粉剤DL	穂揃期と乳熟期の2回	3kg
スタークル1kgH粒剤	穂揃期以降(出穂7～10日後)	1kg

どちらか散布

畦畔及び水田周辺の除草はカメムシの密度低下に有効です。出穂直前及び出穂以降に行くとカメムシをほ場内へ移動させてしまう可能性があります。出穂10日前までに畦畔及び水田周辺の除草作業を完了させましょう。

また、草刈り後の草を水路に流さないように気を付けましょう。草により止水されていたり、取水口に草が詰まっていたりするのを見かけます。水路に落としてしまった場合は熊手等で取り除きましょう。

## 夏のお米の保存方法

保存温度:玄米・精米ともに15℃未満

(冷蔵でも精米後2週間程度で食味が低下しはじめます。)

対策:ペットボトルやジップロックなどの密封できる容器に入れ、冷蔵庫で保存。

(しっかり密封しないと冷蔵庫の臭いや湿気を吸収してしまいます。)